

取組紹介

体験教室

DNA鑑定を体験しよう！（高校生編）

開催日 令和5年8月4日 場所 秋田大学理工学研究科

理工学研究科の尾高 雅文教授を講師に迎え、PCR法によるDNA鑑定を行いました。実際に、理工学研究科の実験室にて、見た目では分からないお米の品種鑑定（DNA鑑定）に挑戦しました。

当日は、大学院生4名が実験のサポートにあたり、グループごとに機器の操作を手伝うとともに、大学生活や勉強のことなど、参加者とお話をする機会を設けました。女子学生の理系進路選択についてミニ講義も行い、つきそいの保護者の方も熱心に聞き入っている様子が見られました。



スタッフがアガロースゲルを作製



ピペットマンでDNA試薬をチューブに加える様子



大学院生に受験のことや学生生活について質問



student's voice

とても楽しかったです。自分の進路にとても役に立つお話も聞けてうれしかったです。

知らないことや普段は体験できないことができて良かった。楽しく実験できた。

中高生のみなさんへ

理工学研究科
生命科学専攻 生命科学コース
尾高 雅文 教授



今回は、中学生には植物からのDNAの抽出を、高校生には米の品種のDNA鑑定を体験して戴きました。遺伝子の本体として学ぶDNAを、実際に実験を通じて扱うことで、教科書で学んだ生物の世界を実感して戴けていたら嬉しいです。科学は、日常目にするものに、「なぜ?」、「どうして?」と疑問を感じるところから始まります。その疑問を解決するための方法を考えることが科学の本質であり、理系の本質だと思います。こうした考え方をするのに、性別は関係ありません。実際、海外の研究室に行くと、多くの女子学生が活躍しています。皆さんが科学の世界を担う次の「人財」になることを期待しています。